

## 北秋田市と上小阿仁村 **地元食材「おいしい！」** オリジナル給食味わう



北秋田市と上小阿仁村の地元食材を使ったオリジナル給食が、両市村の小中学校、義務教育学校計12校で提供され、児童生徒が味わった。

北秋田市と上小阿仁村はオリジナル給食を「K. K. うめえBEAR給食」と銘打ち、毎年1回提供。今年は11日に出した。給食を通じて生まれ育った地域に興味をもってもらおうと、北秋田市教育センターの栄養教諭部会がメニューを考案した。

市内産「やまと豚」に地元のシシトウ、マスタードで作った調味料を合わせたオープン焼きや市内の農家が生産した発芽玄米を提供。上小阿仁村産の野菜を使ったサラダとスープも出された。デザートとして、北秋田市特産のバター餅のイメージキャラクター「バタもち」と上小阿仁村のPRキャラクター「こあぴょん」がふたに描かれた豆乳プリンが振る舞われた。

上小阿仁村の上小阿仁小中学校では66人の児童生徒が「おいしそう」「絶対おかわりする」と盛り上がりながら給食を盛り付けた。「いただきます」と声をそろえて一品一品を味わった。あっという間に食べ終わり、何度もおかわりする子どももいた。

6年の片岡心桜さん(12)は「豚肉とマスタードの調味料がよく合っていておいしかった。地元の食べ物をもっと食べたい」と笑顔を見せた。(石塚佳治)

(令和6年9月22日(日)秋田魁新聞より一部抜粋)